

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的長期研修】

受託団体名 (特非)神戸定住外国人支援センター

1 事業の趣旨・目的

地域に根差した多文化理解と学習支援の研修会。受講者に自分達のニーズを提言してもらって研修会の内容を決定する。学習者を迎える研修会も行う。

2 企画委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
2010年 5月22日	当団体 事務所	樋口 大祐 高橋 博子 宇野 祐子 矢根 寛子 金 宣吉 志岐 良子 奥 優伽子	2010年度の研修会の実質的運営について検討	今年度の各回の担当者を決め、講師依頼や打ち合わせ、広報等について話合う。
2011年 2月12日	当団体 事務所	高橋 博子 宇野 祐子 矢根 寛子 金 宣吉 志岐 良子 奥 優伽子	2010年度の研修会の反省を踏まえて2011年度の研修会について検討	来年度の研修会の目的や方針、講師の選定等について話合う。

3 研修講座の内容について

- (1) KFC 研修会
- (2) 日本語ボランティア支援者の資質や技術の向上
- (3) 受講者の総数 88人(延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)
(出身・国籍別内訳 日本 72人, 韓国 11人, 中国 4人, カナダ 1人)
- (4) 開催時間数(回数) 21,5時間 (10回)
- (5) 参加対象者の要件 特になし

(6) 受講者の募集方法

当センターHP。KFC 会員向けニュース、メールニュースおよびチラシ。

3月14日分は神戸新聞、中国帰国者高齢者支援関係団体と近郊役所に出席要請の電話連絡。チラシを別途添付(別紙—1)

(7) 研修会場

ア 講義 ①～⑨当センター事務所横教室スペース、
⑩新長田勤労市民センターピフレホール会議室 A

イ 実習(フィールドワーク) 神戸市中央区、垂水区

(8) 使用した教材・リソース 講師別レジメ、資料など

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
6月19日 16:00～ 18:00	市民性教育とは(イギリスの市民性教育の現場を訪ねて)	甲南女子大学 准教授 野崎 志帆	19名
7月10日 13:30～ 15:30	内モンゴルについて	当センター職員 呼和徳力根	17名
9月11日 13:30～ 15:30	「みんなの日本語 I」のテキストの使い方	神戸女子大学 非常勤講師 斎藤 明子	15名
9月13日 18:00～ 20:00	ベトナム人研修生・技能実習生を支える日本語教室の実践	ノートルダム聖心女子大学 非常勤講師 二階堂 裕子	7名
10月6日 13:00～ 15:00	韓国語と日本語を比べる	神戸在日韓国・朝鮮人児童生徒保護者の会代表 金信ニヨン	8名
10月9日 13:30～ 15:30	ベトナムの歴史と現状	日本ベトナム友好協会 副会長 中村 道宏	10名
11月2日 17:00～ 19:00	日本の伝統と歴史	神戸大学 准教授 樋口 大祐	8名
12月11日 13:30～ 15:30	漢字の教え方～甲骨文 字を使って	元宝塚市児童生徒サポータ ー 関 登美子	19名

3月12日 13:30～ 17:00	神戸華僑の足跡を訪ね る～辛亥革命100年を迎 えて～	孫文記念会館主任研究員 徐 小潔	15名
3月14日 18:30～ 20:30	外国人高齢者の生活課 題	神戸大学 教授 岡田 浩樹	41名

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

①6月19日

受講者数	19		
回答者数	10		
たいへんよかった	6	役立つ情報が得られた	6
よかった	3	日頃の活動に役立つ	2
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	5
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	3
		抱えていた問題・不安の解消につながった	0

②7月10日

受講者数	17		
回答者数	9		
たいへんよかった	7	役立つ情報が得られた	6
よかった	2	日頃の活動に役立つ	1
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	1
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	1
		抱えていた問題・不安の解消につながった	1

③9月11日

受講者数	15		
回答者数	7		
たいへんよかった	6	役立つ情報が得られた	4
よかった	1	日頃の活動に役立つ	5
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	3
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	4
		抱えていた問題・不安の解消につながった	4

④9月13日

受講者数	7		
回答者数	5		
たいへんよかった	3	役立つ情報が得られた	3
よかった	2	日頃の活動に役立つ	1
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	1
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	0
		抱えていた問題・不安の解消につながった	0

⑤10月6日

受講者数	8		
回答者数	8		
たいへんよかった	6	役立つ情報が得られた	5
よかった	1	日頃の活動に役立つ	2
どちらともいえない	1	スキルアップにつながった	3
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	1
		抱えていた問題・不安の解消につながった	1

⑥10月9日

受講者数	10		
回答者数	9		
たいへんよかった	5	役立つ情報が得られた	9
よかった	4	日頃の活動に役立つ	4
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	3
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	2
		抱えていた問題・不安の解消につながった	0

⑦11月2日

受講者数	8		
回答者数	5		
たいへんよかった	4	役立つ情報が得られた	4
よかった	1	日頃の活動に役立つ	4
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	3
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	1
		抱えていた問題・不安の解消につながった	0

⑧12月11日

受講者数	19		
回答者数	13		
たいへんよかった	8	役立つ情報が得られた	5
よかった	4	日頃の活動に役立つ	4
どちらともいえない	1	スキルアップにつながった	4
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	2
		抱えていた問題・不安の解消につながった	1

⑨3月12日

受講者数	15		
回答者数	7		
たいへんよかった	4	役立つ情報が得られた	4
よかった	2	日頃の活動に役立つ	2
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	2
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	4
		抱えていた問題・不安の解消につながった	0

⑩3月14日

受講者数	41		
回答者数	20		
たいへんよかった	15	役立つ情報が得られた	18
よかった	3	日頃の活動に役立つ	10
どちらともいえない	0	スキルアップにつながった	12
よくなかった	0	他の参加者との交流・情報交換が図られた	6
		抱えていた問題・不安の解消につながった	8

② 実施主体からの研修内容結果評価

評価シート

評価項目→ 講座↓	支援活動の スキルアップ	学習者の 背景理解	異文化 理解	コメント
①	○	▲	◎	マイノリティ支援の参考となった
②	○	○	◎	国家と民族の違いを理解するのに役立った
③	◎	▲	△	教授法を鵜呑みにせず、自分で考える力が大切だとわかった
④	○	○	▲	研修生の日本語教育の実情が理解できた

⑤	○	◎	○	一番近い言語の相違点がわかった
⑥	○	◎	○	学習者の出身国のことを系統立てて知ることができた
⑦	○	▲	▲	日本の伝統に長短の歴史があることがわかった
⑧	◎	△	△	漢字のみならず人間教育の必要性の話もあり参考になった
⑨	△	○	◎	華僑の歴史を現場を見て深く理解することができた
⑩	△	◎	◎	外国人問題ではなく日本の課題であるという内容であった

◎とてもよかった ○よかった △ふつう ▲よくなかった

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

研修した結果を踏まえて来年度には中国帰国者の居場所作り、就学前のプレスクール開催をする。同時に日本語の習得は生活支援の一環であるという啓発活動も含めた研究会の開催も行っていく。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

当センターでは日本語支援と子ども学習支援事業を行っているが、その事業に直接つながる研修であり、受講したその日から役に立っている。ボランティアや講師、スタッフが自己研鑽できる場であることが一番のいい点であり、活動日や活動内容が違うメンバーが定期的に顔を合わせるということで団体としての連帯感も育まれている。

② 研修後の人材活用

研修が活動している人を主に対象としているので、個々で次の活動に活かしてもらっている。日本語を教えるためのみならず、できるだけ幅広い教養と知識、外国人の視点を理解する多文化社会を担う人材を育成している。

(12) 今後の課題

長年活動している人と新たに参加した人の基礎知識などに違いがあり、すべての人に新たな研修と言えない場合がでてきたので、研修の対象者(活動歴やどのような研修が必要なのか)を明確にし、そのレベルに合った研修を企画し行っていかなければならないことが今後の課題である。